

温室効果ガス削減実施状況報告書

令和6年7月10日

広島県知事様

提出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名
岡山県高梁市松原通2111番地3
株式会社カルファイン
取締役 事業部長 小林 俊夫

広島県生活環境の保全等に関する条例第100条の2第1項の規定により、温室効果ガス削減実施状況報告書について、次のとおり提出します。

事業所の名称	株式会社カルファイン 金平工場		
事業所の所在地	〒720-1701 広島県神石郡神石高原町有木513-9		
実施状況の内容	別紙のとおり		
連絡先	担当部署 保安探査室 担当者氏名 藤井 航 電話番号 080-5087-7508 (e-mail : fujii-w@calfine.co.jp)		
※受理年月日	年 月 日	※整理番号	
※備考			

注 1 実施状況の内容については、別紙によることとして、規則第75条の2第2項に掲げる事項について記載するものであること。
2 ※の欄には、記載しないこと。
3 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とすること。

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社カルファイン 金平工場

(2) 事業所の所在地

広島県神石郡神石高原町有木513-9

(3) 業種

鉱物・土石粉碎等処理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26(2014)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成26年度 (2014年度)	令和7年度 (2025年度)	令和3年度 (2022年度)	令和4年度 (2023年度)	令和5年度 (2024年度)	令和6年度 (2025年度)	令和7年度 (2026年度)
エネルギー 起源CO ₂	9,390	8,920 5.0	7,145 23.9	6,598 29.7	6,957 25.9		
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	9,390	8,920 5.0	7,145 23.9	6,598 29.7	6,957 25.9	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	現状、基準年度・目標年度どちらの排出量も下回っている。 製品の生産量に大きく影響されるため、今後も温室効果ガス排出抑制に向けた取組を行っていく。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	軽油の使用量を10%削減	・アイドリングストップ等のエコドライブの実践
2	電気使用量の削減	電気の使用量を5%削減	・ファン、モーター等をインバータで制御する ・高効率照明器具への更新 ・運転機器台数削減 ・フィードアップ等による原単位減
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。